



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月4日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 東

コード番号 6322 URL <http://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田信彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田裕 TEL 06-6208-3971

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,838	2.3	277	34.1	287	27.3	179	59.7
25年3月期第3四半期	4,728	△1.8	206	△40.3	226	△33.2	112	△22.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.79	28.66
25年3月期第3四半期	18.06	17.98

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第3四半期	8,218	717.15	4,467	431.12	54.3	717.15
25年3月期	7,992	693.12	4,316	418.12	53.9	693.12

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 4,460百万円 25年3月期 4,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	3.8	600	25.5	600	16.5	380	26.6	61.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は、3ページ【2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ②①以外の会計方針の変更 : 無
 ③会計上の見積りの変更 : 無
 ④修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	6,440,450 株	25年3月期	6,440,450 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	220,240 株	25年3月期	222,983 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	6,218,656 株	25年3月期3Q	6,206,079 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の経済環境は、政府・日銀による財政・金融政策等を背景に、為替の円安進行による輸出の増加や企業業績の改善など、国内経済は緩やかな回復傾向にありました。海外では、米国経済が緩やかに景気回復の状況にあるものの、新興国経済の伸び悩みなど、世界経済の先行きは不透明な状況下にありました。

こうした状況のもと、当社を取り巻く受注環境は、景気対策の効果やタブレット端末の普及などで設備投資が旺盛な業界があるものの、水処理プラントや民間工場の生産プロセスへの設備投資に対する姿勢は慎重さが根強く、業界によって好不調の明暗が分かれました。一方、海外プラント向けの輸出は、円安や景気回復を受けて堅調でした。

品目別では、主力の定量ポンプが第3四半期比較では過去最高の実績となりました。

これは、おもに「スムーズフローポンプ（高精密ダイヤフラムポンプ）」が国内の船舶搭載向けや国内を中心とした、塗工・電池などのケミカル・電子材料市場向けで好調であったことが要因であります。その一方で、水処理用の汎用ポンプは、国内プラントの設備投資が低迷した影響により伸び悩みました。

ケミカル移送ポンプは、前年同四半期に計上した鉄鋼業界向け「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」の大口案件の反動減が影響し、全体として売上高が減少しました。

計測機器・装置は、食品業界向け大型物件の貢献もあり、売上高は、前年同四半期を上回る実績となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は48億38百万円（前年同四半期比2.3%増）と前年同四半期を上回り増収となりました。

利益面では、スムーズフローポンプなど高付加価値商品の販売増加により営業粗利率が改善したことに加え、減価償却費など製造経費の減少が貢献し、売上総利益は19億65百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

人員増加や研究開発への投資を進めたことにより、販売費及び一般管理費が16億88百万円（前年同四半期比1.2%増）と増加しましたが、営業利益は2億77百万円（前年同四半期比34.1%増）、経常利益は2億87百万円（前年同四半期比27.3%増）と改善いたしました。特別損失が前年同四半期に比べ32百万円減少したことにより、四半期純利益は1億79百万円（前年同四半期比59.7%増）と増益となりました。

品目別販売実績は次のとおりであります。

【品目別販売実績】

品目別	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		増 減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
定 量 ポ ン プ	2,442	51.7	2,622	54.2	180	7.4
ケミカル移送ポンプ	531	11.2	404	8.4	△ 127	△ 24.0
計 測 機 器 ・ 装 置	777	16.5	855	17.7	77	10.0
流 体 機 器	392	8.3	353	7.3	△ 38	△ 9.9
ケミカルタンク	371	7.9	352	7.3	△ 19	△ 5.3
そ の 他	212	4.4	250	5.1	37	17.7
合 計	4,728	100.0	4,838	100.0	110	2.3

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて2億25百万円増加し、82億18百万円となりました。

流動資産は59百万円増加し、45億79百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の減少81百万円、売上債権の減少46百万円、棚卸資産の増加1億83百万円であります。

固定資産は1億65百万円増加し、36億38百万円となりました。主な増減内訳は、有形固定資産の減少38百万円、投資有価証券の増加2億55百万円であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べて74百万円増加し、37億50百万円となりました。

流動負債は2億8百万円減少し、22億91百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の増加28百万円、短期借入金の減少1億54百万円、賞与引当金の減少92百万円であります。

固定負債は2億82百万円増加し、14億58百万円となりました。主な増加内訳は、長期借入金の増加2億92百万円であります。

また純資産は、前事業年度末に比べて1億51百万円増加し、44億67百万円となりました。主な増加内訳は、その他有価証券評価差額金の増加95百万円、四半期純利益1億79百万円から配当金1億24百万円の支払いを差引いた利益剰余金の増加54百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は0.4ポイント上昇し54.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月8日の「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,219	763,062
受取手形及び売掛金	2,943,425	2,896,743
有価証券	101,470	99,800
商品及び製品	48,874	100,736
仕掛品	826	2,403
原材料及び貯蔵品	469,997	599,697
その他	113,994	119,531
貸倒引当金	△3,116	△2,317
流動資産合計	4,519,691	4,579,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,195,113	1,190,612
機械及び装置(純額)	141,114	122,667
土地	595,128	595,128
その他(純額)	124,913	109,348
有形固定資産合計	2,056,269	2,017,755
無形固定資産		
投資その他の資産	66,972	51,839
投資有価証券	884,354	1,139,844
関係会社株式	9,840	9,840
その他	458,587	421,198
貸倒引当金	△3,058	△2,048
投資その他の資産合計	1,349,723	1,568,834
固定資産合計	3,472,965	3,638,429
資産合計	7,992,657	8,218,087
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,390,030	1,418,331
短期借入金	621,112	467,112
未払法人税等	36,880	39,244
賞与引当金	186,753	93,987
その他	265,500	273,315
流動負債合計	2,500,276	2,291,990
固定負債		
長期借入金	326,498	618,664
再評価に係る繰延税金負債	30,841	30,841
長期未払金	197,519	197,519
退職給付引当金	617,077	608,748
その他	4,357	3,005
固定負債合計	1,176,293	1,458,777
負債合計	3,676,570	3,750,768

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	732,777	732,902
利益剰余金	2,677,587	2,732,264
自己株式	△111,328	△109,966
株主資本合計	4,192,035	4,248,199
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119,720	215,009
繰延ヘッジ損益	39	—
土地再評価差額金	△2,374	△2,374
評価・換算差額等合計	117,384	212,634
新株予約権	6,666	6,484
純資産合計	4,316,087	4,467,318
負債純資産合計	7,992,657	8,218,087

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	4,728,686	4,838,771
売上原価	2,853,498	2,872,905
売上総利益	1,875,188	1,965,865
販売費及び一般管理費	1,668,199	1,688,334
営業利益	206,988	277,530
営業外収益		
受取利息	4,671	8,262
受取配当金	9,878	9,334
投資有価証券売却益	16,960	2,974
その他	7,632	6,563
営業外収益合計	39,142	27,134
営業外費用		
支払利息	10,057	8,512
売上割引	3,161	3,398
為替差損	5,517	3,473
その他	1,308	1,452
営業外費用合計	20,044	16,837
経常利益	226,086	287,827
特別利益		
新株予約権戻入益	187	—
特別利益合計	187	—
特別損失		
固定資産除売却損	1,738	—
減損損失	31,211	—
特別損失合計	32,950	—
税引前四半期純利益	193,323	287,827
法人税等	81,235	108,801
四半期純利益	112,088	179,026

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。